

## 新着雑誌記事紹介収載

### 新着雑誌記事紹介【2019No.12】(HP 収載)

雑誌名：ステレオ

発刊号：第 57 巻第 1 号

著者・編者：鈴木裕

記事題名：究極の音質チューニングアナログマジックでセットアップはここまで追い込める

記事副題：アナログ音質アップ大作戦第 2 特集

頁：P62

関連記事：アナログ No.61, P97 アナログ再生の革命的セッティングツール

発行所：音楽の友社

編集長：吉野俊介

発行日：2019 年 1 月 1 日

備考：

概要：



両誌の記事ともアナログマジックの解説と使用感の内容です。

アナログマジック社の製品で国内取り扱い、ノア社が行っており、そのプレスリリース資料は下記サイトにあります。

[http://www.noahcorporation.com/analogmagik/20180821analogmagik\\_release.pdf](http://www.noahcorporation.com/analogmagik/20180821analogmagik_release.pdf)

AnalogMagik 社の紹介として、「2010 年にカナダに創立された AnalogMagik 社は、同名の製品である“analogmagik software & Test LPs”とそれに付随したオプション製品を開発、販売しています。永年の研究・開発により誕生した“analogmagik”はターンテーブル・トーンアーム・カートリッジ・フォノイコライザーなど、アナログオーデ

イオのセッティング全てにおける細かな状態の測定を、PC を使用して統合的に行える今までに類を見ない先進的なソフトウェアです。」とあります。

その analogmagik 製品概要には、“analogmagik software & Test LPs”では、以下の項目の測定が可能と記載されています。

1. ターンテーブルの回転速度
2. ターンテーブルのワウ・フラッター値
3. カートリッジのアジマス（左右傾きバランス）
4. カートリッジの VTA（Vertical Tracking Angle=垂直トラッキング角）
5. カートリッジの VTF（Vertical Tracking Force=トラッキング力・針圧）
6. トーンアームのアンチスケーティング力
7. フォノイコライザーのインピーダンス設定
8. フォノイコライザーのゲイン設定
9. システム全体の振動値
10. システム全体の共振値

両誌の記事ともアナログマジックを実際に使用してみて有用性を評価していますので、機会を見て販売店等でデモの依頼を考えてみます。

以上